

福島県総合計画の推進について

1 福島県総合計画（令和3年10月策定、計画期間：令和4年度～令和12年度）

- 県のあらゆる政策分野を網羅し、県づくりの指針や施策を示す県の最上位計画
- 計画期間は、令和4年度から令和12年度までの9年間
- 本計画の実行計画として、「ふくしま創生総合戦略」と「第2期福島県復興計画」を復興・再生と地方創生を推進する両輪として位置付ける

福島県を取り巻く現状と課題

- ① 復興・再生の現状と課題 ② 地方創生の現状と課題 ③ 横断的に対応すべき課題（自然災害、新型コロナウイルス感染症、地球温暖化対策 など）

みんなで創り上げるふくしまの将来の姿

基本目標

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ

県民の皆さんから頂いた「ふくしまの将来の姿」

“ひとを大切にする”

= **ひと**

“安心・快適に暮らせる”

= **暮らし**

“働きたい場所(仕事)がある”

= **しごと**

ひと・暮らし・しごとの3つの分野ごとに将来の姿の全体像を描くとともに、世界の共通言語であるSDGsの視点でも将来の姿を描く



政策分野別の主要施策

県がその役割の下に取り組む主要な施策

- 政策分野別の主要施策の体系

ひと 分野

- ① 全国に誇れる健康長寿県へ、② 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり、③ 「福島ならではの」教育の充実、④ 誰もがいきいきと暮らせる県づくり、⑤ 福島への新しい人の流れづくり

暮らし 分野

- ① 東日本大震災・原子力災害からの復興・再生、② 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり、③ 安心の医療、介護・福祉提供体制の整備、④ 環境と調和・共生する県づくり、⑤ 過疎・中山間地域の持続的な発展、⑥ ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり

しごと 分野

- ① 地域産業の持続的発展、② 福島イノベーション・コースト構想の推進、③ もうかる農林水産業の実現、④ 再生可能エネルギー先駆けの地の実現、⑤ 魅力を最大限いかした観光・交流の促進、⑥ 福島産業を支える人材の確保・育成、⑦ 地域を結ぶ社会基盤の整備促進

- 指標は2種類（基本指標、補完指標）

基本指標（成果指標）→ 施策によって、課題解決をどれだけ達成したかの成果を測る指標

補完指標 → 課題解決の達成状況を直接的に測る指標ではないが、課題や取組の現状分析に資する指標

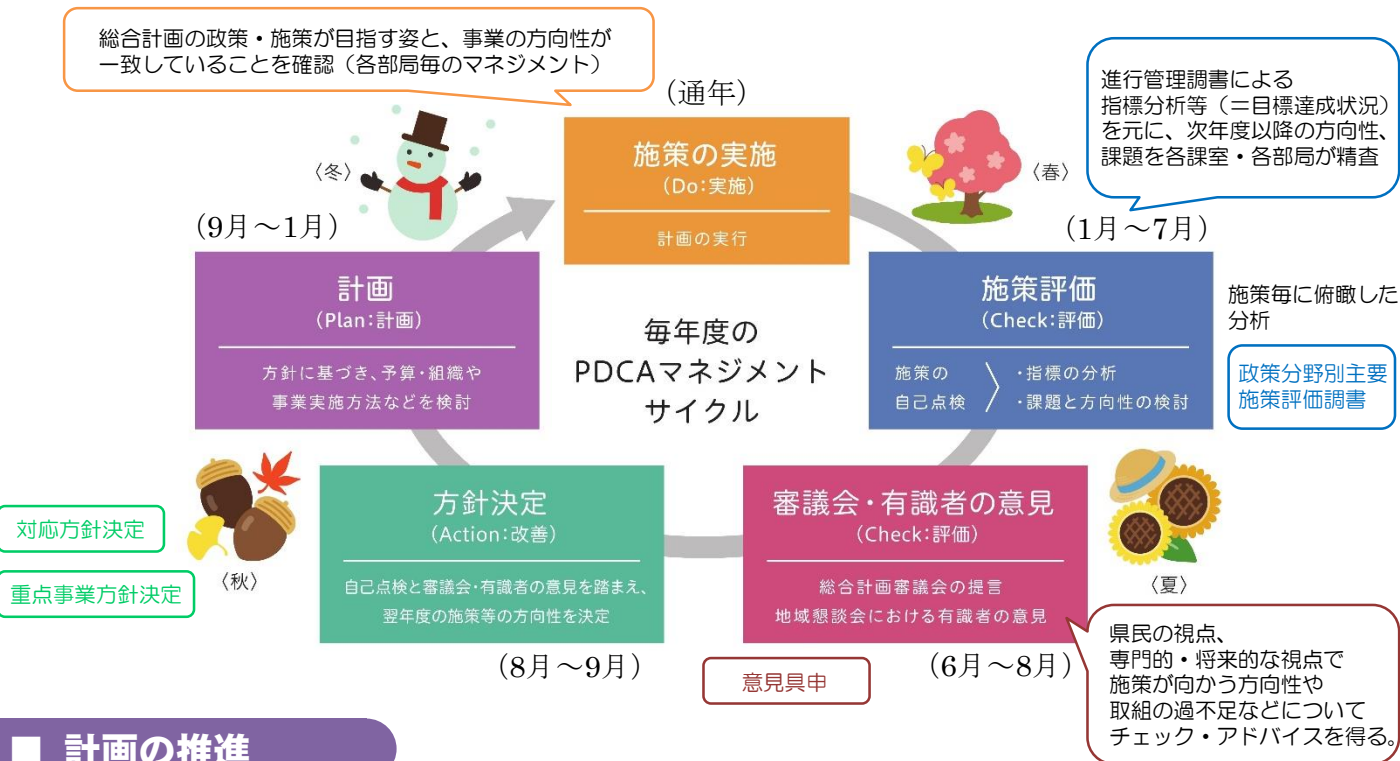
地域別の主要施策

- 地理的な条件や自然環境、歴史・文化などの特性をいかし、7つの地域（県北、県中、県南、会津、南会津、相双、いわき）により地域づくりを推進していく。

2 福島県総合計画の進行管理

PDCAマネジメントサイクルの確実な実行による事業効果の適切な評価を行い、具体的な「成果の創出」と「成果の見える化」を進める。

しっかりとしたチェックを土台に、総合計画に掲げる将来の姿の実現に向けた明確な方向付け(アクションづくり)に意を置き、全庁を挙げて取り組む。



■ 計画の推進

施策評価による定量的な分析に基づく取組の方向性を踏まえ、先を見通した次年度事業の構築につなげる。限られた行財政資源の中で、復興・再生と地方創生を推進するため、重要な行政課題を8つの「重点プロジェクト」として展開し、重点的に取り組む。



- ① 避難地域等復興加速化プロジェクト
- ② 人・きずなづくりプロジェクト
- ③ 安全・安心な暮らしプロジェクト
- ④ 産業推進・なりわい再生プロジェクト
- ⑤ 輝く人づくりプロジェクト
- ⑥ 豊かなまちづくりプロジェクト
- ⑦ しごとづくりプロジェクト
- ⑧ 魅力発信・交流促進プロジェクト

3 地域懇談会 (6月、県内7地域)

地域の現状や課題を把握し、県勢の推進に役立てるため、県内7地域において、様々な活動を行う県民の皆さんから意見等を伺う地域懇談会を開催した。

地域	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
開催日	6/22	6/28	6/30	6/23	6/23	6/28	6/27

